

札幌大学トークシリーズ「世界の激動する教育を考える」第2回目の講演会を札幌大学と札幌国際プラザの共催で、札幌天神山国際ハウスを会場に6月23日14:00から開催します。

第2回目講演会の講師は本学文化学部教授ファビオ・ランベッリ（イタリア）が担当します。「変貌する大学教育」－地方大学の新しい役割のために－と題して、少子化、高齢化、国際化などの社会変化は大学という教育機関にも大きな衝撃を与えました。ヨーロッパやアメリカの大学を参考にして日本の、特に地方大学の新しい役割と教育理念を考えます。

第2回 6/23(土) 14:00～16:00

「変貌する大学教育」－地方大学の新しい役割のために－

講師：文化学部教授 ファビオ・ランベッリ（イタリア）

第3回 7/21(土) 14:00～16:00 講師：文化学部教授 張 偉雄（中国）

第4回 9/22(土) 14:00～16:00 講師：女子短期大学部教授 ウィリアム・グリーン（イギリス）

第5回 10/20(土) 14:00～16:00 講師：外国語学部教授 ウラジーミル・ジダーノフ（ロシア）

会 場：札幌天神山国際ハウス（札幌市豊平区平岸2条17丁目）

申込み：札幌天神山国際ハウス 電話：011-823-1000 F A X：011-823-1867

Email：sgh@plaza-sapporo.or.jp

：札幌大学共同研究プロジェクト 遠藤昌子研究室 電話/FAX 011-852-9359

Email：endom@sapporo-u.ac.jp

参加料：無料

札幌天神山国際ハウスは平成18年5月に「札幌天神山国際ハウスのあり方検討委員会」が設置され、施設の有効活用策及び用途変更の検討がされております。札幌大学共同研究プロジェクトでは国際交流都市機能発揮の場としての札幌天神山国際ハウスのこれまでの運営理念、実践を整理し、さらに国際交流都市ならではの市民層の厚さの育成という視点から国際交流都市にふさわしいソフト面の課題を札幌市に提示する試みを行っています。

今回、札幌大学トークシリーズでは、大学の知的財産を最大限に活用し、大学と地域社会、市民の方々との結びつきを、大学から外に出て働きかけていきます。国際交流を草の根で支える市民に、知的関心に答える場、交流の機会を提供する事も大学の使命と考えます。

【札幌大学共同研究プロジェクト】

平成18年4月に経済学部教授 綱島不二雄をプロジェクトリーダーとして「道都機能としての札幌市－その歴史、現状、課題－」をメインテーマにスタートしました。本学教員約40人が学部の枠を超えて参加しており、それぞれ専門分野の異なる教員が集まり、歴史関係、文化・社会関係、道都機能・道州制関係の3つの班に分かれて研究を行います。研究期間は2年で成果は印刷物、シンポジウムの開催で公開します。